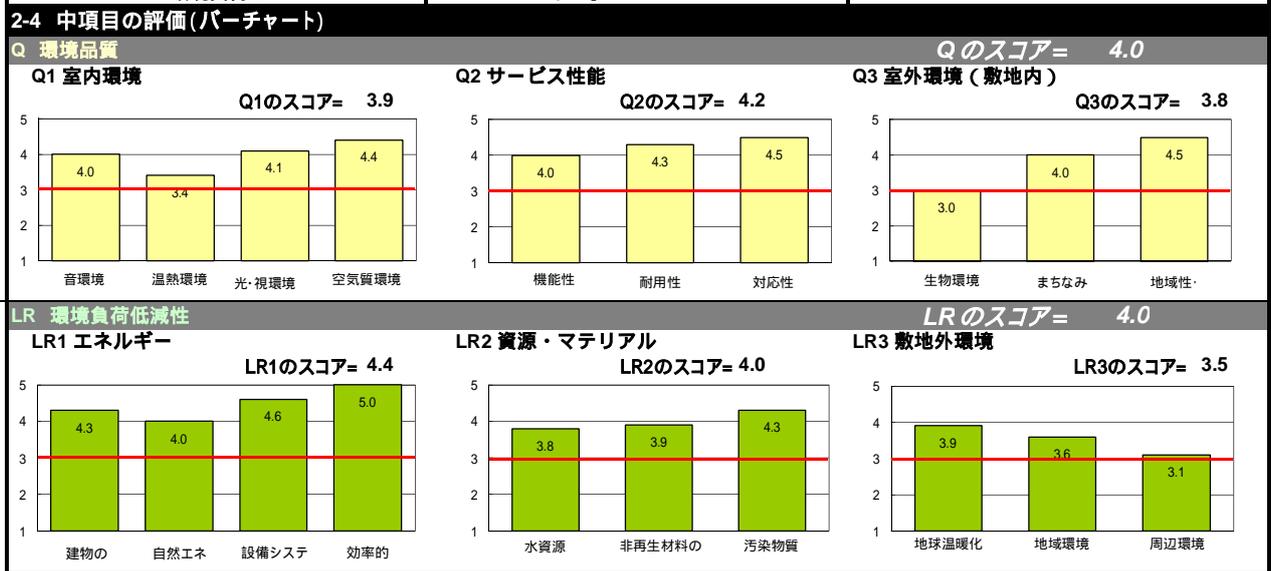
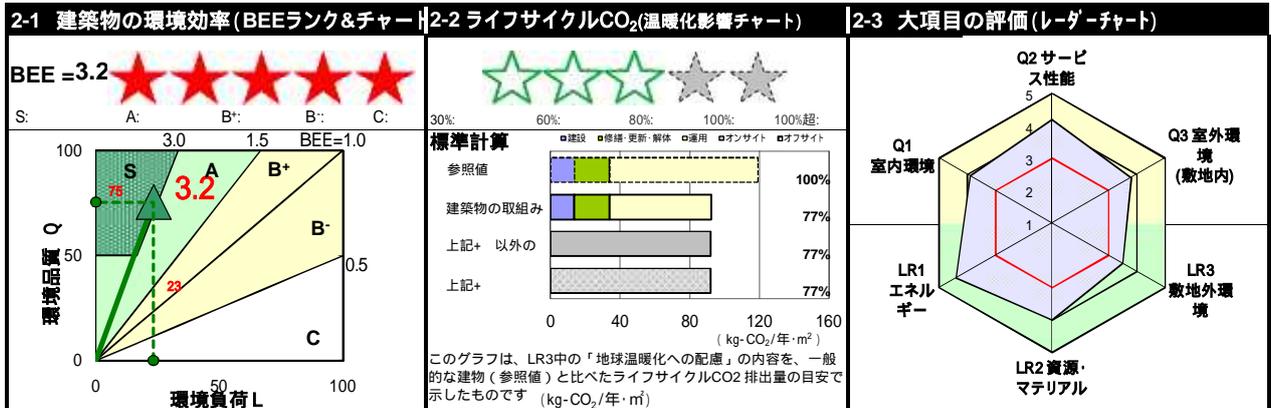


1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	アツツグローバル本社棟新築工事	階数	地上7F		
建設地	神奈川県厚木市恩名5-1-1	構造	S造		
用途地域	工業地域	平均居住人員	1,455 人		
気候区分		年間使用時間	3,600 時間/年		
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2013年12月24日		
敷地面積	9,370 m <sup>2</sup>	作成者	㈱竹中工務店		
建築面積	6,164 m <sup>2</sup>	確認日	2013年12月25日		
延床面積	27,675 m <sup>2</sup>	確認者	㈱竹中工務店		



3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>「家知を集めたイノベーション活動の場」をコンセプトとし、方針として イノベティブなビジネスを生み出す環境創造、エコ・省エネで地球環境にやさしい建築、安心・安全な建物という3点を掲げています。具体的には自然換気や自然採光等による自然エネルギーの有効活用や設備機器の個別制御性・メンテナンス性の向上、サステナビリティに配慮した将来対応、BCP計画等を方策としています。</p>		<p><b>その他</b></p> <p>0</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>外気冷房やナイトバージを想定した換気システムの採用、個別制御性の高いパッケージエアコンと効率の良い中央式熱源を併用したハイブリッドな空調システムの構築、個別の照明制御が可能な照明制御システムの採用</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来のレイアウト変更にも対応可能な計画とする。</li> <li>免震構造の導入等により、耐震性に配慮する。</li> <li>メンテナンス性に配慮する。</li> <li>BCPを考慮した維持管理のしやすさに配慮する。</li> </ul>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>限られた外構部分での生物自然の創出に配慮する。</li> <li>敷地内の他棟に合わせた横連窓の外装計画とすることで、周囲との調和に配慮した。</li> </ul>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Low-eガラスや高断熱の外装材を使用し、建物の断熱性能に配慮する。</li> <li>高効率照明器具、換気設備を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮する。</li> <li>太陽光発電を採用、自然エネルギー変換利用に配慮。</li> </ul>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>節水型便器や自動水洗等の採用により、節水に配慮する。</li> <li>エコマーク認定品やグリーン調達適合品のリサイクル材を利用し、資源の再利用に配慮する。</li> </ul>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車スペースを確保し、敷地外への交通抑制に配慮している。</li> <li>豊富な緑化スペースを設け、温熱環境の改善に配慮している。</li> </ul>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
**Q: Quality** (建築物の環境品質), **L: Load** (建築物の環境負荷), **LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性), **BEE: Building Environmental Efficiency** (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される